

東北大学による東日本大震災 1 ヶ月後緊急報告会

日時：4月13日（水）午後2時から5時まで

場所：トラストシティ カンファレンス・仙台 ROOM 2～5 四室連結（5階）

<http://www.mori-trust.co.jp/tcc-s/>

<http://www.mori-trust.co.jp/tcc-s/access.html>

主旨：

東日本大震災の実態を把握し、教訓・経験を活かすために、1ヶ月で把握した様々な専門家の視点から震災の実態を報告する。東北大学の英知を結集した活動として位置づける。

主催：

東北大学防災科学研究拠点

東北大学グローバル COE 変動地球惑星学の統合教育研究拠点

東北大学工学研究科都市・建築学専攻・土木工学専攻

主な内容：

- 地震メカニズム（東北地方太平洋沖地震および余震）
- 地震動災害，建物・地盤・インフラ災害，インフラ・交通被害
- 津波メカニズム，津波災害の実態
- 災害保健医療
- 災害情報，認知，風評被害
- 復旧復興のランドデザイン

問い合わせ先：東北大学大学院工学研究科附属災害制御研究センター

<http://www.dcrc.tohoku.ac.jp/>

Tel: 022-795-7462 Fax: 022-795-7515

E-mail: secretary@dcrc.tohoku.ac.jp

【あいさつ】 数井 寛（東北大学理事）

1. 海野徳仁，2011年東北地方太平洋沖地震（M9.0）について～これまでにわかったこと、まだわからないこと
2. 日野亮太・藤本博己・伊藤喜宏・稲津大祐・長田幸仁，海底観測が捉えた東北地方太平洋沖地震の津波波源域における海底隆起
3. 源栄正人・大野晋，地震動と建物等の被害
4. 石渡 明・宮本 毅・平野直人，3.11巨大地震による仙台付近の墓石転倒率調査結果

【質疑応答】

5. 川越 清樹（福島大）・風間聡・横尾善之 ・小野桂介，福島県須賀川市藤沼湖決壊について
6. 山川優樹・京谷孝史・風間基樹・加藤準治，宮城県北部の地震地盤災害について
7. 森 友宏・京谷孝史・風間基樹・三辻和哉（山形大学），宮城県南部および内陸丘陵造成地の地震地盤災害について
8. 箕浦幸治ら，地学的なアプローチ

【質疑応答】

9. 今村文彦・越村俊一・今井健太郎・菅原大助，大津波の実態調査と教訓の整理に向けて
10. 越村俊一・郷右近英臣・柴山明寛，衛星画像から判明した東北地方太平洋沖地震津波の被害と復興に向けての取り組み
11. 真野 明・田中 仁・有働恵子，津波による海岸堤防の被害
12. 菅原大助・今村文彦・箕浦幸治，貞観地震津波と今回との比較

【質疑応答】

13. 奥村 誠，交通ネットワークの被害と復旧の状況
14. 上原鳴夫，災害時の緊急保健医療対応-何ができ何ができなかったか？
15. 阿部恒之，被災者のマナー：被災後の生活と治安
16. 平川 新，3.11大震災と歴史遺産の被害

【質疑応答】

17. 佐藤翔輔・今村文彦・林春男，東日本大震災に関するウェブ情報のアーカイブとその解析
18. 平野勝也・姥浦道生，復興まちづくりのあり方

19. 石田壽一・本江正茂, せんだいスクール・オブ・デザインによる特別プログラム「復興へのリデザイン」

20. 増田聡, 社会経済的被害と地域再生

21. 佐藤源之・内田利弘・相澤隆生, 社会経済的被害と地域再生

【質疑応答】

【最後】 平川新 (防災科学拠点グループ代表)

事前の資料作成は必要ありません。

ただし、用意しても構いません。入り口の受付に置いて下さい。

1時から会場に入れます。

パソコンは、共通のものを用意します。

ケーブルの切り替えスイッチも準備致します。

報告時間は7分ほどです。【厳守下さい】

今回の報告会終了後に、資料をPDFに作成いただき、佐藤翔輔

(ssato@dcrc.tohoku.ac.jp)さんに、【4月17までに】お送り下さい。センターのHPなどに掲載させていただきたいと思います。

HPへの掲載に使用のない、内容にして下さい。